



こんにちは アローです!

(株)ブリヂストン  
常務役員

**志田 義一**さん

P.08



苦悩、歓声…何度も壁を乗り越えて。

**つくりあげた人工尾びれと深い絆**

P.10



ブリヂストンの現場力  
**国内唯一のスチールコード工場**  
～佐賀工場～



P.14



**モータースポーツも  
サステナブル!**

P.04



わが町 わが職場 わが仲間  
**群馬県**

P.18



師匠と弟子  
**(株)ブリヂストン 甘木工場**

P.16



山口周さんに聞く  
**アンコンシャス・バイアスとDE&I**

P.22

02 **2023年下期 Joint Global COOメッセージ**

03 **お客様の声**

04 **モータースポーツもサステナブル!**

08 **こんにちは アローです!**

—— (株)ブリヂストン 常務役員  
志田 義一さん

10 **苦悩、歓声…何度も壁を乗り越えて。  
つくりあげた人工尾びれと深い絆**

14 **ブリヂストンの現場力**

—— 国内唯一のスチールコード工場  
～佐賀工場～

16 **師匠と弟子**

—— (株)ブリヂストン 甘木工場

18 **わが町 わが職場 わが仲間**

—— 群馬県

20 **当世海外事情**

—— インド共和国

22 **山口周さんに聞く**

アンコンシャス・バイアスとDE&I

25 **Arrow News Clips**

27 **ありがとうの気持ち  
読者プレゼント**

28 **Web版「Arrow」から  
のお知らせ**

## 2023年下期 Joint Global COO メッセージ

上期の振り返りと下期に向けた  
グループ従業員の皆さんへの  
メッセージを伺いました。



(株)ブリヂストン  
代表執行役 Joint Global COO

東 正浩

## 中期事業計画 (2021-2023) の 最終年として、 実行と結果にこだわる

### — 皆さん一人ひとりの努力に感謝

皆さん、こんにちは。Joint Global COOの東です。下期を迎えるにあたり、上期の振り返りと、今後の取り組みについてお話ししたいと思います。

当社を取り巻く環境の激変とその影響は今年も続いています。新型コロナウイルス感染症の影響やサプライチェーンの混乱など、好転しつつあるものもありますが、原材料価格やエネルギー費の上昇などは、未だ業績へ大きなインパクトを及ぼしています。こういった状況の中、皆さん一人ひとりが、それぞれの職場において、工夫や改善を継続し、新たな挑戦も含めて業務を遂行いただいたこと、そしてそれが業績という形で結実していることには心から感謝しています。

### — 足元の業績について

今年の第1四半期の連結業績は、皆さんの尽力とグループグローバルの努力が反映され、対前年で増収増益を達成しました。売上収益は為替円安の追い風もあり、当社初の1兆円台に乗りました。

日本事業については、消費財・生産財タイヤ事業における、数年来のコスト上昇の価格転嫁は未だ途上であり、収益性が低下するなか、超成熟市場での「断トツ」確保に向けたビジネスの質改善に向けて、プレミアムフォーカス・MIX UP施策を継続強化している最中です。一方、日本事業の業績に含まれる収益性の高い鉱山用タイヤの販売拡大に加えて、一般タイヤの海外輸出及び国内化工品の採算

改善によって国内市場の収益低下を補い、対前年で増収増益となりました。高い現場力・技術力が求められるプレミアムタイヤの生産を担う日本の生産現場の力が、グローバル業績へも大きく貢献しています。日本が今後もグローバルのモノづくりをけん引していくという強い想いの下で、より高次元のプレミアムタイヤ生産を支えるモノづくり力の強化に努めていただくよう改めてお願いします。

### — 安全はすべてに優先する

今年、栃木工場の火災から20年を迎える節目の年です。2003年9月8日に栃木工場で発生させた火災によって地域住民の方々、近隣施設、環境や行政、お客様や従業員など、多方面に多大なるご迷惑をおかけしたことは、当社が風化させてはならない記憶です。火災後に入社した「あの日を知らない」世代の従業員の皆さんも増えてきていますが、当社の従業員として、一人ひとりが「このような火災は二度と起こさない」という強い意識を持つ必要があります。この機会に今一度、「安全はすべてに優先する」を胸に刻み、それぞれの職場で、日頃から防災意識を持って、安全・防災活動の徹底をお願いします。

### — Bridgestone E8 Commitmentを軸に、 価値を創造

当社の進むべき方向を示すベクトルである企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」については、社内外でのさまざまな活動が進んでいます。4月に行われ

たJリージョンTQM大会でもどの「E」につながるかよく考えられた活動事例が多くあり、また社外との共創においても安心・安全やE8の価値につながる多くの取り組みが進められています。一人ひとりが誇りとオーナーシップを持ち、自分の業務の中で何ができるかを常に意識しながら、イノベーション・改善による価値創造を進め、8つの「E」の実現に向けて前進していただきたいと思っています。

### — 中期事業計画 (2024-2026) に向けて

事業環境は常に変化しています。その中で我々が目指すのは、変化に対応できる「強い」ブリヂストンです。

中期事業計画 (2021-2023) 最終年として、実行と結果にこだわり、計画達成を目指すと共に、次の中期事業計画 (2024-2026) に向けた成長への基盤をしっかりと構築していきたいと思っています。経営の最重要指標であるROICについては、目標である10%以上、10.5%を目指していきます。各職場で取り組んでいただいているROIC改善活動の継続推進が益々重要になってきます。更なる取り組みの強化をよろしくお願いします。

我々の使命である「最高の品質で社会に貢献」のもと、それぞれの持ち場で、社会価値・顧客価値創造に貢献し、結果に結びつくような活動を、進めていただきたいと思います。下期も安全と健康を第一に、チーム一丸となって頑張っていきたいと思います。よろしくお願

## Voices お客様の声

グループ各社に寄せられたお客様の声を紹介します。  
更にお客様のご期待に応えられるよう、情報源として役立てていただければ幸いです。



お客様の声の全文はWeb版Arrowをご覧ください!  
(ユーザー名: bridgestone パスワード: arrow)

- ♥ お礼・お褒めの言葉
- ? お問い合わせ
- ★ ご意見・ご要望

### ♥ お礼・お褒めの言葉

#### 素晴らしいロードバイクを世に出していただき ありがとうございます

「ANCHOR RP9」が1月に納車されました。硬いと聞いていましたが、非常にしっとりとしたマイルドな乗り味で、楽に速く走れます。

このような素晴らしいバイクを世に出していただき、ありがとうございます。「ANCHOR」に乗り始めて今年で20年になります。今後も素晴らしいバイクを世に送り出してください。

(福岡県・男性)

#### 【補足】

剛性の高いロードバイクは、乗り心地が「硬い」と称されることがあります。

「ANCHOR RP9」は、ブリヂストン独自の解析技術「PRO FORMAT (プロフォーマット)」により、「剛性」だけでなく「空力」「重量」といった走りに関する要素のベストバランスを追求することで、より速く、より快適なロードバイクになっています。

### ♥ お礼・お褒めの言葉

#### ヘルメット「クルムス」が とても気に入っています

ヘルメットの着用が義務化されたので、先日、貴社製の自転車用ヘルメット「クルムス」を購入しました。売り切れていたため入荷まで1か月半程待ちましたが、シンプルで色・フォルムも良く、とても気に入っています。

自転車もブリヂストンの「エブリッジL」を使っており、滑らかな走りでも乗り心地も良く、愛用しています。お陰様でこれからも快適で楽しい自転車生活を過ごすことができると思います。

(千葉県・女性)

#### 【補足】

2023年4月1日から道路交通法が改正され、自転車に乗る際のヘルメットの着用がすべての人を対象に努力義務化されました。

ブリヂストンサイクル(株) お客様相談室には、3月下旬以降、「自転車と同じブリヂストン製ヘルメットを購入したい」「ヘルメットを試着してみたい」などのお客様からのお問い合わせが増加しています。

### ? お問い合わせ

#### コクピット・タイヤ館のみでの 取扱商品を近隣店舗で購入したい

現在使用している「Playz」が摩耗してきたので、次回も同じものを購入したいと思い調べたところ、オンラインストアのみでの取り扱いに変わったようでした。私は沖縄県那覇市在住で、コクピット・タイヤ館の店舗数が少なく、最寄りの店舗までは1時間以上かかります。

以前は「POTENZA」を使用しており、「Playz」が発売された時に「運転が楽」という部分に惹かれて購入しましたが、静粛性や乗り心地も良かったので、次も「Playz」を購入したいです。コクピット・タイヤ館以外で取り付けできる方法は無いでしょうか?

(沖縄県・男性)

#### ブリヂストンの対応

From (株)ブリヂストン お客様相談室

お客様にはご不便をおかけしますが、ご希望の商品は現在はお調べの通り、コクピット・タイヤ館オンラインストアのみでの販売、コクピット・タイヤ館のみでの取り付けになることをご説明し、ご理解いただきました。

### ♥ お礼・お褒めの言葉

#### 丁寧な回答に感謝いたします

(「BLIZZAK VRX3」の性能改善ご要望のお手紙に対し、担当部署よりご返信したところ、以下のお礼のお電話がありました)

「BLIZZAK VRX3」の氷上性能に加え、雪上性能も更なる向上を要望した内容の手紙をお送りしましたが、それに対する回答を郵送された方にお礼を伝えたく、改めて電話しました。丁寧な対応に大変感動しており、いただいた手紙は部屋に飾って周りの者にも見せています。

雪と氷では求められる技術が異なり両立も難しいことが分かりました。とはいえ、どうしても更なる改善を期待してしまいます。今回、回答準備のためご尽力された皆様に感謝の気持ちを伝えてほしいのと共に、難しいとは思いますが更なる性能向上をぜひお願いしたいです。

(大阪府・男性)



# モータースポーツもサステナブル!

60周年を機にタイヤメーカーとして「原点」に立ち戻ったブリヂストン。  
レースという過酷な「極限」の環境下で私たちは技術を磨いてきました。  
次世代のモビリティへつなげるため、  
ブリヂストンはサステナブルなグローバルモータースポーツを支える挑戦をしています。



## モビリティ社会の進化に貢献するモータースポーツ



(株)ブリヂストン  
グローバルマーケティング戦略統括部門  
統括部門長

高城 知行さん

自動車業界は100年に1度と言われる大変革期を迎えています。CASEやMaaSはじめ、クルマのEV化が進み、クルマの作り方も使われ方も変わってきています。また、サステナビリティへの社会的な要請が高まるなか、モータースポーツにおいても、電気自動車や水素エンジン搭載車が登場するなど、環境対応をより意識したレースやイベントが注目を集めています。こうしたなか、ブリヂストンは、レースで使用するタイヤの原材料における再生資源・再生可能資源の適用拡大や、より長く長持ちするタイヤの開発、使用済みタイヤのリサイクル促進などを推進しています。バリューチェーンの上流から下流までCO<sub>2</sub>排出削減に取り組み、サステナブルなモータースポーツの実現に向けた取り組みを加速するとともに、レースという過酷な「極限」への「挑戦」を

通じて、技術を磨き、実証することで、市販タイヤの進化にもつながるイノベーションを創出します。

ブリヂストンがモータースポーツ活動を始めてから60年。これを機に、環境面でのサステナビリティの推進に加えてモータースポーツ文化の発展を持続可能にするための活動に積極的に取り組みます。国内外の2輪、4輪レースに加え、eモータースポーツへのサポートなど裾野を広げる活動を通じて、トップレーサーからアマチュアドライバーまで幅広く支えています。

グループ従業員の皆さんにもモータースポーツ活動を体験いただける取り組みを展開していきます。ぜひレース会場にお越しいただき、一緒に声援を送り、一体となって盛り上げていただければ幸いです。

## 01 Race 「Bridgestone World Solar Challenge」



ブリヂストンは2013年よりタイトルスポンサーとしてBridgestone World Solar Challenge (BWSC) のサポートを行っており、今年で10年目を迎えます。今大会では、新たなプレミアムを創造する商品設計基盤技術「ENLITEN」を搭載した新しいスペックのタイヤを投入します。「ENLITEN」とは、従来性能をすべて

向上させた上で、求められる複雑な性能を融合し、カスタマイズすることで社会価値、顧客価値を高める技術です。また、今回のタイヤの原材料は、再生資源・再生可能資源比率63%と、サステナブルな材料が使われています。更に、レースで使用された後のタイヤを現地でリサイクルする取り組みも始まります。これまでは日本

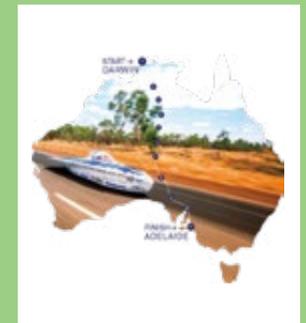
に持ち帰っていましたが、現地でリサイクルすることで輸送によって発生するCO<sub>2</sub>の削減を図ることができます。こうした取り組みを通じて、ソーラーカーチームが必要とする運動性能と環境性能を両立したタイヤを供給し、将来を担うエンジニアの挑戦とモビリティ技術の進化を支援していきます。

### 世界最高峰のソーラーカーレースBWSC

BWSCは太陽光を動力源として、約5日間をかけてオーストラリア大陸約3,000kmを縦断するソーラーカーレース。世界中から集まる大学生をはじめとした若きエンジニアたちの夢を乗せたさまざまなソーラーカーを、ブリヂストンは足元から支えます。走行は日中9時間と決められており、夜間は各チームが広大な砂漠の中でそれぞれキャンプを張って過ごすサバイバル要素なども特徴的な大会です。2年に1回開催され、今回のレースは、10月22日から始まります。

ソーラーカー開発には空気力学、電気工学、電子工学などさまざまな科学分野の知識が必要とされるため、分野を超えたエンジニア育成の場として世界的にも注目を集めています。

詳しくはこちらから



## 02 Race 北米最高峰レースでも環境負荷低減 「2023 NTT INDYCAR® SERIES」

ブリヂストンは、北米最高峰のフォーミュラカーレース「NTT INDYCAR® SERIES」の全17戦にタイヤを供給します。「NTT INDYCAR® SERIES」の第6戦として行われた今年の「インディ500」には、使用後のレジ袋やラップなど廃プラスチックから再生された合成ゴムが使用されたタイヤを供給しました。また、全17戦のうち、公道を使用した5レースでは、グアキュール由来のゴムを使用したレースタイヤを供給しています。

グアキュールは、砂漠のような乾燥地帯で育ち、干ばつ耐性が高い低木です。そのため従来型の農機を使い、コスト効率よく栽培することが可能です。また、グアキュールを多く植栽することでグアキュール自体がCO<sub>2</sub>を吸収するため、カーボンニュートラルにも寄与します。ブリヂストンでは、天然ゴムを生み出すパラゴムノキの代替候補として、2012年から研究活動を行っています。

昨年8月に、テネシー州ナッシュビル

で開催された同シリーズのレースでグアキュール由来の天然ゴムをタイヤのサイド部分に使用したファイアストンプランドのタイヤが初めてレーシングカーに装着され、そのタイヤの安全性と運動性能が証明されています。

ブリヂストンでは、極限の使用条件が求められるモータースポーツにおいて、これらの技術の実証を進め、量産・商業化に向けて歩みを進めています。

### 実用化は近い? 佐藤琢磨選手に聞く グアキュール由来のゴムを使用した レースタイヤのパフォーマンス

インディカー・シリーズは、以前から車両の燃料にエタノールを使用しており、環境への配慮は進んでいましたが、いよいよ今年からは100%バイオ燃料を使用することになりました。また、再生可能資源であるグアキュール由来のゴムを使用したタイヤが投入されるのも世界初だと思います。その性能は、前年度と比較しても、普段使っている柔らかいゴムを使ったタイヤと比べてほとんど遜色ありません。グリップの高さも、レースを通して発揮される性能も、従来のタイヤとほとんど変わらないのには驚きました。ブリヂストンの技術力の強さを感じます。



佐藤琢磨選手からの  
メッセージ動画は  
こちらよりご覧いただけます



## 03 Race 電費効率を極限まで追求 「Bridgestone FIA ecoRally Cup」

「Bridgestone FIA ecoRally Cup」は、国際自動車連盟 (FIA) が主催する、ゼロエミッション車 (バッテリー式電気自動車・燃料電池自動車) の電費効率を競うラリーです。

一般公道を利用して開催され、設定された区間タイムにどれだけ近づけたか、またエネルギー量をどれだけ効率的に使用できたかを競います。また、開催地

は、自然保護や再生可能エネルギーの活用に関心をもち、街ぐるみで自然を守ることを意識する街が選ばれています。

ブリヂストンは今年3月に開催された、Bridgestone FIA ecoRally Cup 第3戦のチェコ戦からタイトルスポンサーとして参画し、商品設計基盤技術「ENLITEN」を搭載するタイヤを訴求しています。



チェコ戦の様子

## モータースポーツ文化をサステナブルに

ブリヂストンは、10年後も20年後も走るワクワクを提供し続け、これからもモータースポーツ文化の発展と心動かすモビリティ体験を支えていきます。モータースポーツファンの裾野を広げるには、普段、モータースポーツに触れる機会の少ない方々に楽しんでいただく機会を提供することが、長期的な文化発展につながると考えています。

### 本格的なサーキット走行を体験!

#### POTENZA Circuit Challenge / POTENZA Circuit Meeting

POTENZA Circuit Challenge (PCC) は2022年度から始まった、モータースポーツに参加したいけれどハードルが高いと思っている方にも、気軽に参加できる走行会です。従来、年4回実施しているモータースポーツ体験イベント「POTENZA Circuit Meeting (PCM)」よりも、初心者にも優しい競技ルールで、街乗り仕様のクルマでも、またクルマを持っていなくても参加できます。

ブリヂストンの契約ドライバーがインストラクターとなり、運転アドバイスを受けられるレッスン方式で、安全を確保した進行でサーキットを走行 (タイムトライアル)。本番走行ではクラスごとに順位をつけ、上位にランクインした方には賞品も授与されます。



### eモータースポーツの体験型プログラム

#### 「Bridgestone eMotorsport Institute」

ブリヂストングローバル研修センターで7月から始まっている「Bridgestone eMotorsport Institute」は、ドライビングシミュレーターを使って、プロドライバーから直接指導を受けながら気軽にモータースポーツのドライビング技術の向上を目指す体験型プログラムです。遠方のサーキットに行くことなく、またクルマを持っていなくても安心・安全にモータースポーツを楽しむことができます。

参加者はシミュレーターでスキルチェックを行った後、レベルに合わせて、契約ドライバーやプロのシミュレータードライバーの講師から指導を受けることができます。



### プログラム概要

内容	1レッスン70分、最大4名が同時に参加可能
時間	10:00-19:00、7月8日 (土) より隔週実施
料金	受講料1万円 (税込) / 回 受講カルテ (シミュレータースキル診断) 1万5千円 (税込) ※1年ごと更新

### みんなでレースを応援しよう!

#### 「ブリヂストン社内応援団」

社内応援団は、ブリヂストングループの従業員だけでなく、その家族や友人と一緒に参加できる、ブリヂストンならではの応援企画です。

鈴鹿8耐などの2輪や、4輪の国内最高峰レース「SUPER GT」を特別料金+応援団特製記念品付きで観戦でき、パドックツアーなどの特典も! 「SUPER GT」大会前には (株)ブリヂストンモータースポーツ企画・推進部からレースの見どころなどを教えてもらえる事前レクチャーもあり、初心者の方にもおすすめです!



**走るワクワクを体感できるイベントに皆さんも参加してみませんか?  
モータースポーツの魅力を体験していただき、  
みんなで一緒にサステナブルなモータースポーツを盛り上げていきましょう!**

各イベントのご案内、ご予約は、ブリヂストンモータースポーツWebサイトやイントラネット (ONE-B) で随時公開してまいりますのでお楽しみに!



## 揺らがぬ自分の“軸”を、 更に輝かせる



こんにちは  
アローです!

Hello!



Hello!

今回は(株)ブリヂストン 常務役員の志田さんにお話を伺います。「こんにちは志田さん、今日はよろしくお願ひします!」

(株)ブリヂストン  
常務役員 グローバル経営戦略・人的創造性向上管掌

### しだ よしかず 志田 義一さん

静岡県出身。1989年に入社し、中南米を中心にのべ6か国を渡り歩く。Bridgestone Asia Pacific Pte. Ltd.ではCEOを、普利司通(中国)投資有限公司では董事長を務めた。2023年1月から現職。

#### Information

##### 幼少時代の将来の夢

##### サッカー選手

小学1年生からの9年間、サッカーに夢中でした。生まれ育った静岡県清水市(現静岡市清水区)は小学校のグラウンドにもナイター設備が付いていることが当たり前。平日は学校終わりに夜まで練習し、土日は試合に出場していたので365日のうち360日はボールを追いかけていましたね。

##### 愛用しているブリヂストン

##### ECOPIA、ゴルフ用品

スポーツ用品を長く愛用していて、テニス部に所属していた高校・大学時代はブリヂストンのテニスラケットが相棒でした。また、高校生の時は自慢の愛車『ロードマン』で通学をしていました。

※ブリヂストンスポーツ(株)のテニス事業は2020年末に撤退しています

##### 宝物

##### サッカーの王様 ベレのサイン

ブラジルを3度のワールドカップ優勝に導き、“サッカーの王様”と呼ばれたベレ(エドソン・アラントス・ド・ナシメント)のサインです。現役を引退した1974年に清水市で開催されたベレのサッカー教室に参加、その際に手に入れました。



## 志田さんの人生における ターニングポイントを教えてください。

入社して3年目の頃、転職を考えたことがありました。そもそも私の人生の軸にあるのは、幼少期から熱中していた“サッカー”。大学ではサッカー大国・ブラジルの公用語であるポルトガル語を専攻し、就職活動の際もサッカーが盛んな中南米地域でビジネスを展開している日本企業を探していました。ちょうどブリヂストンがファイアストーンを買収したというニュースを聞き、中南米エリアとのつながりを期待して入社を決めました。

希望通り中南米部に配属となり、現地の代理店とタイヤ販売オペレーション業務を担当。初めての出張先であるメキシコで、日本から遠く離れた地に堂々とそびえるブリヂストンの看板を見て心が震えたことを今でも思い出します。しかし、ファイアストーン買収をきっかけに中南米販売業務はアメリカへ移管になり、入社3年目の頃に中南米部は解散となってしまいました。

サッカーに携わりたい気持ちや中南米地域への憧れを捨てきれず、転職活動をして地元のサッカーチームの運営会社から内定をいただきました。意を決して上司に転職の旨を伝えたところ、「今、自分がどこにいるのか正しく理解できているか? 新たな方向へ踏み出す前に、



まずはこの会社でやり切ったと言えることはあるのか。過去は変えられない。未来は変えることができる。未来を変えるためには今(現在)の位置を正しく理解することが大事。この機会に過去、現在、未来と改めて向き合った方が良い」という言葉が返ってきました。

上司の言葉を念頭に三日三晩考え込んだ結果、「まだやり切ったと胸を張れることがない」と感じ、転職を踏みとどまることにしました。人は自分の立ち位置や足りないものを見失いがちです。だからこそ、自分のことを正しく理解することの大切さはとても響きましたね。今でも私がブリヂストンで頑張っているのは、間違いなく当時の上司のおかげです。

## 執務室の中で気に入っているものや、愛用の品を教えてください。

1992年頃、カリブ海に浮かぶ島・プエルトリコに出張した際、現地の代理店の社長からいただいた置物をご紹介します。このカエルはココヤスガエルというプエルトリコの固有種で、国獣として親しまれている品種です。



プエルトリコはとても小さな島ではありますが、幅広いタイヤビジネスが展開されていました。消費財の販売チャンネルは充実し、生産財では2006年に当社が買収したバンダグ社のリトレッドも既にあり、多くの学びを得られた思い出の場所です。中南米販売のアメリカへの業務移管は順調には行かず、苦労の連続でした。プエルトリコの代理店もその影響を受けブリヂストンとの関係は悪化しました。日本から、そしてアメリカ赴任後も何回も足を運びその関係修復に努めました。仕事の進め方、言葉、文化、考え方も異なるパートナーとどうすればうまくビジネスを回せるのかを模索する日々で、時には代理店の社長が苦労話をしながら涙を流している姿も見ました。アメリカ赴任を終え、ブラジルに異動する際に社長が「いつでもプエルトリコを思い出して」と手渡してくれたのがこの置物です。以来、業務スペースのどこからかずっと見守っていて、愛らしい表情を見るたびにプエルトリコで過ごした日々と初心を思い出します。

## 今までのキャリアにおいて、印象に残っている「失敗」のエピソードについて教えてください。

出張中、飛行機を乗り過ごしてしまったことがありました。国から国へと渡り歩いていた時期で、時差や時計の読み違いが重なり、空港に着いた時には乗るはずの飛行機はすでに空の上。移動時間に余裕を持たせていたため翌日のフライトへと切り替えることができましたが、一歩間違えば社内外の多くの方にご迷惑をかけていたかもしれません。

日本はとても便利な国で、数分待たば次の電車がきますし、移動手

段も多種多様。だからこそ、便利さに甘えずに余裕を持って行動することが、回り回って自分や相手のためになるのではないのでしょうか。乗り過ごし事件以降は、1日のスケジュールや事前確認は丁寧に行うように心掛けています。

## キャリア形成において大切だと思うことを教えてください。

弱みよりも強みに、短所よりも長所に目を向けることです。一般的に人はできていないことに目を向けがちだと思いますが、海外勤務を通じて長所を見る、強みを生かすことの大切さを学びました。できている部分を認め、まずはリスペクトを伝えると、どんな話も受け止めやすくなるんです。私も相手に指摘することがある時は強み→弱み、長所→短所の順番で話すように心掛けています。お互いに良い気持ちで仕事を進めるためのコツです。

娘が通っていた幼稚園の先生も「成長には“褒めて認めて励ます”ことが欠かせません」とよくおっしゃっていました。人の成長を見守るプロフェッショナルの言葉にとっても共感しています。

## 志田さんは人的創造性向上をリードされています。従業員の皆さんが人的創造性を向上させていくためのヒントがあれば教えてください。

他社にない、ブリヂストンにしかないもの。それは従業員一人ひとりの存在です。技術や商品力、チャネルなどは他社に追いつかれる可能性がないとは言いきれません。しかし働く一人ひとりの成長の可能性は無限大であり、個々の力こそがブリヂストンの原動力です。南アフリカで人種差別撤廃政策を成し遂げたネルソン・マンデラは“it always seems impossible until it's done”という言葉を残しています。これは、“何事も成功するまでは不可能に思えるものである”という意味です。物事に絶対はありません。最後まで諦めず、できない理由よりもどうしたらできるかを追求し、前向きにいろんな機会やチャンスで自分の可能性を追求していきましょう。

そういった姿勢の大切さはモータースポーツ活動にも共通しています。選手の入れ替わりやレギュレーションの変化があるなかでも、変わらぬビジョンを持ち挑戦を続ける人・チームはやはり強いんです。今年はモータースポーツ活動60周年。一緒にブリヂストンがサポートするチーム、そしてブリヂストンのタイヤを応援しましょう!



自分の長所や強みに目を向けて、可能性を広げていこう!

僕にもサッカーを教えてくださいな〜!

苦悩、歓声…何度も壁を乗り越えて。

# つくりあげた 人工尾びれと深い絆

「もう一度、仲間と泳ぐ楽しさを思い出して——」。  
そんな熱い思いが、一頭のイルカの一生を大きく変えた。  
2022年12月、プリチストンは一般財団法人沖縄美ら島財団（以下、美ら島財団）と  
タッグを組み、一度は失ったイルカの尾びれを人工的に再現することに成功した。  
1年以上にもわたるプロジェクトにおいて、  
人工尾びれの開発に尽力したのは、5人のメンバーだ。



## 舞い込んできた1本のメール。 17年の時を超えて、 物語は動き出す

美ら島財団からSOSが要請されたのは、  
2021年の夏のことだ。美ら島財団が管理運  
営する沖縄美ら海水族館（以下、美ら海水族  
館）で飼育されているミナミバンドウイルカの  
メス「サミ」が、尾びれ損傷による感染症にか  
かり、尾びれが壊死。一部切除を余儀なくさ  
れたのだ。治療と並行してリハビリに取り組ん  
だものの、かつて見せてくれたようなはつら  
つとした泳ぎからは程遠い姿となっていた。

「どうしたらサミを元気な姿に戻せるのだ  
らうか？——」。美ら島財団が思い浮かべたの  
は、プリチストンとの協働だった。プリチスト  
ンは過去にも、イルカのための人工尾びれを開  
発した実績がある。2021年から遡ること17  
年、2004年当時、美ら海水族館で飼育され、  
感染症で尾びれを失ったバンドウイルカ「フ  
ジ」のため、世界初となるイルカ専用の人工  
尾びれを開発した。再び泳げるようになった

フジの物語は社会的にも大きな注目を浴び、  
美ら島財団とプリチストン、両者の間には熱  
い絆が生まれていた。

「このままでは、サミがイルカとしての社会  
性を失ってしまいます——」。附属動物病院の  
植田 啓一院長が思いをしたため、プリチスト  
ンに送った1通のメールから「サミ人工尾び  
れ開発プロジェクト」が動き出した。

## 「サミを救うんだ」 熱い想いを胸に 集まったメンバー

「開発統括として、プロジェクトを引っ張って  
くれないか」。2021年10月、梅山さんのも  
とへ、(株)プリチストン R&D改革推進部長の  
松尾さんからメールが届いた。「メールを読  
んだ時は一瞬頭が真っ白になりました」と苦  
笑する。「これまでは化工品事業での業務に  
従事してきましたが、イルカや人工尾びれに  
関する知識・ノウハウはゼロ。でも、かつてプ  
リチストンがフジのために世界初の人工尾び

れを開発したと聞いた時、社員としてとても誇  
らしく感じたことを思い出したんです。『チャ  
レンジさせてください』と二つ返事で承諾しまし  
た」。その後、梅山さんの返事から2時間も経  
たないうちに、(株)プリチストン 技術・品質  
経営分掌などに所属する約2200人の従業員  
に向け、人工尾びれ開発メンバーを公募する  
旨のメールが送られた。

メールを読んで即座に手を挙げた者。オン  
ライン説明会に参加して美ら島財団の思いに  
共感した者——。通常業務との兼務にもかか  
わらず、熱い想いを抱いたメンバーが次々と集  
まった。こうしてさまざまなバックグラウンドを  
持つ5名が、未知の領域へと船を漕ぎ出した。

## 現物現場で痛感した、 壁の高さ

美ら島財団と議論しながら定めたプロジェ  
クトのゴールは、「人工尾びれを装着すること  
でもう一度仲間と泳ぐ楽しさを感じてもらい、  
社会性を回復させること」。

開発チーム発足から2週間後の2021年11  
月、美ら海水族館へ足を運んだメンバーたち  
は、水族館裏にある人目につかないプールへ。  
そこには、ただ一頭、端っこでぼつんと浮かぶ  
サミの姿があった。中北さんは「胸を締め付け  
られる思いでした。開発には一刻の猶予もな  
いと現場に来て痛感しましたね」と振り返る。

「健全なイルカと一緒に泳ぐ速度で遊泳できな  
いサミ。他のイルカと一緒にのプールに入れてし  
まうと、双方にとってストレスが生まれ、サミが  
いじめられたり、双方が自傷行為に走ったりす  
る危険性がありました。しかしこのまま彼女が  
一人ぼっちの時間が続けば、群れに戻ることに  
難しくなります。更に、尾びれの大半を失っ  
たため運動量が著しく低下し、健康面の問題  
が浮上していることもわかったんです」。通常、  
イルカはドルフィンキック、つまり尾びれを縦  
に振って泳ぐ生き物。しかしサミは尾びれだけ  
では推進力が足りず、うなぎのように体全体  
を捻ることでなんとか泳いでいた。このまま無  
理な泳ぎ方を続けていては、体の他の部分に  
負担がかかり、生命の危険につながる恐れが  
あったのだ。

メンバーは残っている尾びれの形や損傷状  
態を正確に知ることから着手した。クレーンで  
サミの体を持ち上げ、CT装置を使ってスキャン  
データを撮影。すると、骨折に加え腱の一部が  
断絶しており、尾びれが約30°反り上がって  
いることがわかった。尾びれだけでなく、付け根  
を保護できるソケットも必要になる。サミに負  
担の少ないように軽量であること、本物の尾  
びれのように柔軟で、かつ、ある程度剛性を持

つことなど、当初の想定よりもはるかに多くの  
ハードルがメンバーの前に立ちちはだかった。

## 誰もやったことのない、 オリジナルモデルを追求せよ

視察を終えたメンバーはホテルのロビーに  
集まり、頭を悩ませた。サミに必要なのは、残っ  
た尾びれを保護するソケット、ソケットの内部に  
敷くクッション材、人工尾びれとソケットをつな  
ぐ板バネ、人工尾びれの4つのパーツが一つ  
になったもの。過去に開発した人工尾びれと  
は異なる、より高度なものだ。メンバー全員で  
写真を見返し、スケッチをしながら議論を重ね、  
パーツの方向性を固めていった。「尾びれを保  
護するソケットを作るのはもちろん初めて。ど  
うすればサミの体や泳ぎに影響が出にくい形に  
できるか、2004年にフジの人工尾びれを開発  
した前任の方からもご意見をいただき、検討  
を進めていきました」と香川さんは語る。



## プロジェクトメンバー



(株)プリチストン  
事業開発戦略企画部  
事業開発戦略企画課 課長  
**梅山 裕史さん**  
プロジェクト開発統括



(株)プリチストン  
デジタルツイン開発第1部  
デジタルツイン開発第2課  
**山元 一史さん**  
構造設計・シミュレーション担当



(株)プリチストン  
ソフトロボティクス事業開発推進部  
ソフトロボティクス事業開発第2推進課  
**中北 行紀さん**  
ソケット\*材料設計担当  
※イルカの尾と人工尾びれの接合装置



(株)プリチストン  
次世代配合開発第3部  
ケース配合第3課  
**栃木 和真さん**  
尾びれ材料設計担当



(株)プリチストン  
関工場 技術課  
**香川 太平さん**  
試作・生産技術担当

※所属部署は取材時の2023年3月  
当時のもの



ソケットと板バネに使用するの、軽量・高強度の炭素繊維強化プラスチック(CFRP)を選定した。しかし、サミに合わせた装具に変形・加工するために約3カ月かかる。何度も仕様を調整する猶予はない。中北さんはガムテープと新聞紙でいくつもモックアップを作成し、イメージを具現化しながら形状の確定を急いだ。更に山元さんは尾びれのCTスキャンデータを参考にCADデータで仕様を3D化。「これまでは化工品やタイヤのシミュレーション開発をしてきたのですが、こんなに複雑な立体データは初めてで、勉強しながら実践する日々でした。またコロナ禍で全員が対面で集まることは難しかったのですが、それを逆手にとり、オンラインでのコミュニケーションを密に行い、CADデータも共有しながら議論しました」。

この間、尾びれ部分の材料設計を進めていたのは、普段はタイヤのゴム材料の配合設計を担当する栃木さん。「少ない力でもしっかりと推進力が発揮できる。これは低燃費タイヤの発想と似ています。リサイクルカーボンブラックやグアキュールを配合することでサステナビリティ材料を活かしつつも、サミの体に影響がないように、ゴム材料の配合設計はできるだけシンプルにしました」。こうして、2022年4月にはプロトタイプを用いた1回目の装着テストを実施した。しかし、初めて人工尾びれを装着したサミは戸惑ってしまい、残念ながらイルカ本来の泳ぎを見せなかった。

人工尾びれの改善が進められるのと並行して、トレーナーによる遊泳訓練を受けていたサミ。2022年6月にはドルフィンキックをする様子が見られ、美ら海水族館では歓声があがった。

そうして2022年7月には試作品の2回目

の装着テストが行われた。サミはプロトタイプを嫌がらずに装着し、健康なイルカと同じプールで4時間半、一緒に過ごすまでの進歩をみせた。

## サミのための最適な目標とは？

「プロジェクトのゴールである『社会性の回復』を科学的・生物学的なアプローチで定量値として目標設定したらどうか？——」執行役専務Global CTOの坂野さんから助言を受けた。「頭では理解するものの、なかなか難しいテーマだった」と梅山さんは語る。「社会性という視点から、美ら島財団と協議し、行動目標を『健全なイルカと並泳すること』に決めました。また、定量的に遊泳能力が回復したことを示す手法は論文を読み漁って勉強、『バイオリソロジー調査』に行き着きました。これは体に小型のセンサーを取り付けて水中での速度や尾びれを振る回数などを計測、遊泳能力を数値的に示すものでした。人工尾びれを装着する前の数値と健康なイルカの数値を比較し、必要な定量目標値を設定できました」。目標の具体化でメンバーの心持ちも更に高まっていった。しかし、続く装着テストでメンバーは大きな問題に直面することになる。

## 割れて沈んだパーツ。その直後の「奇跡」

「バキッ」。プールにくぐもった音が響いた。装着テスト中、人工尾びれ内の板バネが真っ二つに割れてしまったのだ。航空機にも使用される炭素繊維強化プラスチック素材でも強度が不足するとは——。立ち会っていた栃木

さんと香川さんは肩を落とし、プールの底に沈んだパーツを眺めた。「僕らが試作に取り組んでいる間、リハビリによってサミの筋力が予想以上に回復したことはうれしい誤算でしたが、正直どうしようと思いました。でもその後にはびっくりするようなことが起きたんです」。なんと、サミがプールの底に落ちたパーツをくわえ、2人の元を持ってきてくれたのだ。「後でトレーナーさんにも聞いたんですが、本当に嫌いなものだったらくわえて持ってきたりはしないそうです。人工尾びれのことを、そして僕たちのことを信頼してくれているんだって胸が熱くなりました」。彼女の頑張りに応えたい。2人を中心にメンバーで板バネの故障解析はじめ、構造や厚みの再検討、素材の調整に一層熱がこもった。

もう一つ、トラブルがあった。装着テストの最中にソケットのエッジ部分で、サミの体に擦過傷がついてしまったのだ。再び感染症を引き起こすわけにはいかない。そこで、障がい者やチームブリチストンに所属するパラアスリートの義肢装具を開発・製造している(有)アイムスに協力を要請。装具に可動域をつけることやエッジに丸みをつけることなど、形状のアドバイスをいただくことで、この問題をクリアした。

健康だった頃のサミの尾びれのCTスキャンデータを基に金型を製作。サミオリジナルの人工尾びれの最終品ができ上がる頃には、メンバーのなかでサミは壁を乗り越え多くの人に勇気を与える“パラアスリート”のような存在になっていた。

## サミからの最高のプレゼント

2022年12月に迎えた最終装着テスト。4



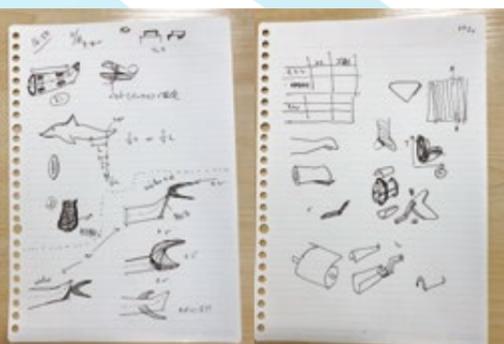
上/アイムス社が手掛ける多くの義肢装具。これらからメンバーはソケット形状のヒントを得た  
下/つくりあげた人工尾びれ

人工尾びれをつけて泳ぐサミの様子は  
こちらからご覧いただけます



左/中北さんと香川さんが書いたプロトタイプのイメージ図。過去の開発事例も参考に、さまざまな仕様を検討した。

中央/中北さんお手製の尾びれを保護するソケットのモックアップ。水色の型はサミのCTスキャンデータを3Dプリンターで印刷したもの。



日間連続での着用への負荷も全く気にせず、サミは人工尾びれを「自分の尾びれ」のように受け入れ、プールを楽しげに駆け巡った。遊泳能力の数値でも回復を実証することができ、メンバーはプロジェクトのゴールが見えてきたことに胸を撫で下ろした。

ドラマはそれだけでは終わらなかった。装着テストの終了間際のことだ。

「ちょっと、みんな見てくださいよ！」

中北さんの声でメンバーがサミの様子を見に駆け寄ると、そこには他のイルカの体を胸ビレで触りながら一緒に泳ぐサミの姿が。これは「ラビング」という仲間とのふれあい行動の一種で、サミがイルカとしての社会性を取り戻し始めた証だった。ラビングする様子を目撃したのは奇しくも人工尾びれ開発メンバー5名のみ。「まるで僕らに感謝を伝えようとしてくれたみたいだね……」。メンバーは涙ぐみ、喜びを分かち合った。

遊泳能力だけでなく社会性の回復まで確認できたことに、プロジェクト立ち上げの発端となったメールを送った植田院長からは「ブ

リチストンさんと組んで心から良かったです」と感謝の声。お互いの技術や知見を持ち寄り、何度も高い壁に挑んだ“共創”が、結実した瞬間だった。

## 個々の力をチームの力に。新たな船出の時

激動の1年間を駆け抜けたメンバーたち。山元さんは「実は私はプロジェクトの途中で1カ月半の間、育休を取得したんです。短期間のプロジェクト中に穴をあける不安はありましたがメンバーのみんながあたたかく送りだしてくれましたし、サミが前向きにトレーニングに励み、劇的に泳ぎが変化したことを休職明けに知りうれしかったです」と目を細める。中北さんも「通常業務との兼務でしたが、部署の皆さんに仕事量を調整いただいたり、定期的に梅山さんと面談して毎月の作業時間をチェックしたりと、一人で背負い込まない環境だったこともやり遂げられた大きな要因だったと思います」と話した。

栃木さんと香川さんは2018年同期入社の間柄。「若手のうちから大きなプロジェクトに参加できたことはとても貴重な経験でした。これまでにないものを生み出す楽しさや、自分の意思を相手にしっかりと伝える大切さを学びました。僕らにとって大きな糧になりました」。

梅山さんはプロジェクトをこう振り返る。「『サミを救うんだ』という強い『想い』を社内外のメンバーで共有できたことで、サミへの価値提供が実現できたと思います。ブリチストンにはさまざまなバックグラウンドを持ち、異なる立場や持ち場にいる仲間が力を合わせ、困難に立ち向かい、突破する力がある。このプロジェクトを通じてそれを証明できたと思っています」。

新しい翼を手に入れたサミ。今後も人工尾びれを用いたトレーニングを継続するが、ブリチストンもサミの成長や状況に合わせてアフターサポートをしていく予定だ。

それぞれの新たな夢、新たな日々に向けて、サミもメンバーも泳ぎ出したばかりだ。

# 国内唯一の スチールコード工場 ～佐賀工場～

今回の「ブリヂストンの現場力」は、国内唯一のスチールコード工場である佐賀工場にフォーカス。鉱山ソリューションのカギとなる鉱山・建設車両用タイヤ「MasterCore」のスチールコードを含め、100種類以上のスチールコードを1日に約8万kmも生産している佐賀工場の現場力に迫ります。



地球2周分の長さを

毎日生産

## 開発チームに聞く！スチールコードの役割と内製する意義

スチールコードは、タイヤの骨格となるベルト部分やカーカス部分に使われる重要な補強材です。高強度で伸びにくいスチールコードがしっかりとタイヤの形状を保持することで車両の安定性を保つと共に、釘踏みなどの外傷からも保護することでタイヤの耐久性が得られます。タイヤの製造に必要な部材を内製することで開発のPDCAを速く回し、製品工場のタイヤ工場と三位一体となることで、「MasterCore」に使われる革新的な補強材もスピード感を持って開発できます。その結果、お客様に「断トツ商品」をお届けすることができます。

## ノンストップで 伸ばし続ける！

製造工程は原材料を細く伸ばすことからスタート。現場には1次伸線、2次伸線、3次伸線とどんどんワイヤーを細く伸ばすための機械が並んでいました。

教えてくれた皆さん



技術課  
3次伸線工程担当  
主務者  
坂井 重和さん



製造第1課  
HP係  
主任  
末次 義弘さん



製造第1課 HP工程 PL  
(熱処理・メッキライン)  
リーダー  
豊増 雅丞さん

**坂井さん** 佐賀工場へようこそ！スチールコードは鉄鋼材が原材料で、直径は5.5mm。鉛筆と同じくらいの太さのものを使います。潤滑剤をつけながら原材料のワイヤーの太さより細い工具の穴に通して、少しずつ伸ばしていき、直径1～2mmまで細くなったワイヤーは熱処理・メッキ処理工程へと運ばれます。伸線で硬くなったワイヤーを柔らかくして更に伸ばすために約1000℃

**Arrow編集部** なんだか糸巻きみたいですね！

**坂井さん** 1次伸線工程、2次伸線工程と、徐々に細く伸ばしていき、直径1～2mmまで細くなったワイヤーは熱処理・メッキ処理工程へと運ばれます。伸線で硬くなったワイヤーを柔らかくして更に伸ばすために約1000℃



1次伸線工程

の高温で熱処理してから、タイヤのゴムと接着しやすくするために化学反応を用いて表面に銅や亜鉛の膜を作ります。

**豊増さん** 熱処理・メッキ処理工程は約200mの8つのラインを3名で監視しています。密に連携を取りながら、機械音や目視により異常がないかを製造規格に合わせて管理しています。24時間機械が止まることがないため、規定巻量となったら適切なタイミングで瞬時にワイヤーをカットして次の巻取り機へ切り替えます。流れるような作業ができるようになります。流れるような作業ができるようになるまでには数年かかりました。

**Arrow編集部** 適切なタイミングでワイヤーをカットしながら次の巻取り機へ準備するのは、まさに匠の技ですね！

**末次さん** 3次伸線工程ではメッキ処理後のワイヤーを直径0.3mm以下に細くしていきます。髪の毛と同じくらいの細さですね。ワイ



適切なタイミングで瞬時にワイヤーをカットして次の巻取り機へ切り替え

ヤーは細くなればなるほど、強度としなやかさが増すんです。

その後、小さな糸巻き器に巻き分けていきます。その種類は100種類以上あり、全てのサイズで条件が異なりますから、覚えるのが大変です。現場に設置しているPCですぐに確認できるようにしています。佐賀工場は世界3カ国にあるスチールコード工場のマザー工場です。私たちの技術を若手やグローバルに伝えていくため、標準をベースに伝承を行っています。

## 均一な撚りが 強度を底上げ

細く伸ばされたワイヤーはいよいよ撚り合わせる工程へ。「MasterCore」の強さの秘訣も教えてもらいました！

教えてくれた皆さん



技術課  
撚り線工程 主務者  
神 利浩さん



製造第2課  
第2SC係 主任  
中牟田 哲宏さん



製造第2課  
日勤プロジェクトメンバー  
井上 英さん

**井上さん** 突然ですが、手袋をつけたまま髪の毛を結えたこと、ありますか？

**Arrow編集部** ないですね……。手袋をつけたら上手に結べないのでは？

**井上さん** 大多数の方は簡単に結べないでしょう。でも私たちは撚り線機に小さな糸巻き器を設置する際、髪の毛ほどの細さのワイヤーを手袋をつけたまま結び、しかも触った感覚でワイヤーの異常まで発見できるんですよ。

**Arrow編集部** ええっ！指先の感覚、どうやって鍛えたのですか？！



撚線工程で髪の毛ほどの細さのワイヤーを結ぶ様子

**中牟田さん** 長年の経験で分かるようになるんです。撚り線機に小さな糸巻き器をセットしたら、いよいよ撚り合わせます。製品にもよりますが、スチールコードはワイヤーをロープのように2～200本程を撚り合わせてきています。撚り合わせることで更に強度が高まるんです。

**Arrow編集部** 撚り合わせる直前のワイヤーはくねくねしていますね。

**中牟田さん** いいところに気付きましたね！撚りのミソは、このウェーブなんです。絶妙な間隔で波打たせることで、コードをより強固に撚り合わせられるんです！

**神さん** この後、「MasterCore」に使うスチールコードのみ、触媒でコーティングする工程が入ります。

**Arrow編集部** 「MasterCore」は触媒をスチールコードの表面に塗布する業界初のコーティング技術で、従来品よりも耐久性

の向上に成功したんですね？

**神さん** そうなんです。「MasterCore」はスチールコードの進化が耐久性の向上に大きく貢献した製品。工程が増えたことで技能員に求められる知識や技能も増えましたが、「スチールコードがタイヤにとって重要な部材である」という認識が今まで以上に強くなりました。

**井上さん** 撚り終えたスチールコードは出荷準備に移ります。ここで注視するのは「トーション」と呼ばれるコード自体の捻れです。基準内であっても、一本一本トーションの度合いがわずかに異なります。ほんのわずかな差ですが、タイヤの安定性に影響が出ないよう、トーションのバランスを調整しながらパッキングしています。

**Arrow編集部** タイヤの製造工程のことまで考えての対応なんですね！

## 安定した検査体制で 後工程につなぐ

最後に訪れたのは試験室。そこでは、佐賀工場の“最後の砦”としてさまざまな検査が行われていました。

教えてくれた皆さん



品質保証課 試験室 主務者  
柳 博志さん



品質保証課  
横尾 美保子さん

**柳さん** 試験室では出荷前のコードからサンプリングし、太さや重さ、メッキの量など、10種類以上の検査をします。錆の影響で検査精度に差が出ないよう、試験室の環境を適年して一定に保ち、試験員のテストも定期的に行っているんです。

**Arrow編集部** 今、向こうでドンって音がしましたよ！

**横尾さん** コード強力の検査ですね。専用の機械でコードを引っ張り数トンの負荷をか

け、コードの強さをチェックしているんです。耐えられなくなって切れた瞬間の音や衝撃は、毎回びっくりしますよ。

**柳さん** 特に「MasterCore」などの大型タイヤ用スチールコードを検査するときは、試験室全体に振動が伝わります。それだけ強いということです。他にも、スチールコードとゴムがしっかりと接着するか実際に加硫して確かめられる設備があります。タイヤ工場でも接着試験が行われていて、ダブルチェックで品

質を守っているんです！

**横尾さん** お客様に安心してタイヤを使っていただくためにも、責任を持って丁寧に検査し、タイヤ工場へ送り出しています！



加硫したゴムとスチールコードの接着試験

# 師匠と弟子



“お父さん”である野村さんのように、みんなから頼られる人財になる

高い心持ちで品質を追求する姿勢を大切にしてほしい

## 息の合った作業で守られる品質

### (株)ブリヂストン 甘木工場

福岡県朝倉市にある(株)ブリヂストンの甘木工場は、トラック・バス用ラジアルタイヤの専門工場、米州・欧州はじめグローバルにも供給しています。今年、操業開始から50年の節目を迎えました。今回は、サイド部の押出工程を担当している野村 吉彦さんと飯田 卓弥さんに、業務の内容とやりがいについて伺いました。

**野村** 飯田くんが僕らの班に異動してくるって決まった時、実はちょっと緊張していたんだ。「Z世代とどうコミュニケーションを取ればいいんだ？」って、ずっと考えていて。  
**飯田** Z世代って言われるとなんだかそそばゆいですね。野村さんをはじめ、他の先輩方もみんな精神年齢が若くて、とても話しやすい印象でした。  
**野村** 飯田くんとの話題作りのために、娘から流行っている音楽を教えてもらっていたんだ(笑)。

**飯田** え、そうだったんですか! (笑)。僕、野村さんのお子さんたちとほとんど年齢変わらないですもんね。  
**野村** そう、実は娘よりも若いんだよね。それにしても、飯田くんは真面目で、任されたことは絶対に最後までやり通す。筋が通っている感じがするよ。  
**飯田** 多分、根が負けず嫌いなんだと思います。学生時代は本気でバスケットに取り組んでましたし、4人兄弟の末っ子ということも大きいのかも。まだ野村さんの弟子になって1年

弱ですが、先輩方に「負けたくない」という気持ちでゴムと向き合っています。  
**野村** 僕らが担当しているダブリング作業は、押出したゴムの部材を2つ重ねて貼り合わせ、カットしていく工程。飯田くんはできあがったタイヤのサイドになる部材が基準の範囲内だったとしても、納得できたものでないと「作り直しませんか」と言ってくる。そこがすごいよ。若手が先輩に進言するって結構勇気がいることだと思うんだよね。  
**飯田** 野村さんへの信頼があるから言える



(株)ブリヂストン  
甘木工場 製造第1課 押出係  
**野村 吉彦さん** (1998年入社)

## 師匠 × 弟子

背が高い、真面目そう	相手の第一印象	優しい、話しやすそう
僕以外の先輩社員と話すと、人見知りを発揮してしまう	相手に直してほしいところ	特にありません
真面目さと品質に対する意識の高さ	相手の尊敬するところ	決断力がある、視野が広い
キリン	相手を動物に例えると	馬
プライベートも充実させてね!	相手に望むこと	これからも優しい目で見守ってください



(株)ブリヂストン  
甘木工場 製造第1課 押出係  
**飯田 卓弥さん** (2021年入社)

ことです。僕らが良いと判断しても、後工程で基準を満たさなかったら安定供給に影響を及ぼしてしまいますよね。だからこそ、部材の重なり具合やゴムの端がうねる“耳やぶれ”には特に目を光らせています。先輩方に言われる前に、僕が異常を見つけたんです。  
**野村** とてもいい心持ちだね。後工程には良い品質のものしか流さないぞ! っていう気合いを感じるよ。僕も品質には少しも妥協したくないんだ。ペアで動いている僕はダブリング作業の中でも特に息を合わせなきゃいけないから、“相棒”でもある飯田くんが高い意識を持っていてとても頼もしいな。  
**飯田** 野村さんの“相棒”と胸を張って言えるようになるにはまだまだかかりそうです。僕にとって野村さんは“お父さん”ですね。困ったときは飛んできて助けてくれますし、時に厳しい視線を交えながら優しく見守ってくれますから。

**野村** 僕も飯田くんのことは自分の子どもだと思ってる。作業中の一挙手一投足がどんどん洗練されていて、成長を感じているよ。  
**飯田** “お父さん”に負けたくない作業員を目指すべく、これからは判断力をつけていきたいです。トラブルが発生した時は毎回あふたしてしまっ。でも、ゴムは待ってくれません。  
**野村** そうだね。押出機の中で熱が加わりすぎると部材に使用できなくなってしまうから、トラブル時の対応は一刻を争うもの。  
**飯田** 機械の稼働を止めずに粘って機械の修理を終わらせるか、機械の中のゴム

を全て取り出す「ヘッドオープン」に切り替えて集中的に修理するか。でもヘッドオープンをすると機械を再度立ち上げるまでに20分ほどかかるので、工程を止めることになります。品質と安定供給を天秤にかけ、その時の状況に応じて最適な判断を下す野村さんを尊敬しています。  
**野村** ゴムにテカリが出始めると加熱しすぎだというサインだから、状態をよく観察しながら思い切って判断するようにしているよ。これまでの経験が判断の根拠となってくるから、焦らずにできることを一つずつ増やしていこう。

**野村** 最近、飯田くんは改善活動にもチャレンジしているんだよね?  
**飯田** そうなんです。甘木工場が掲げる「自律的KY(危険予知)」に基づいて、改善活動の提案や報告書の作成に取り組みははじめました。危険になり得る箇所や他の班での施策例を知ることができて、安全に対するアンテナがとても高まりました。  
**野村** 甘木工場は今年で50周年の節目の年。次世代を担う飯田くんたちには、今後も前向きに仕事と向き合してほしいな。頼んだよ、相棒!  
**飯田** 師匠、相棒、そして“お父さん”として、これからもよろしくお願いします!



「部材を重ね合わせるまでのスピードと正確さが安定供給と生産効率に大きく関わっています。機械をセットするまでの時間をいかに短縮できるかが今の課題です」と飯田さん



「20分ごとに異なる品種を押し出すため、押出機の口金も約2分で付け替えなくてはなりません。機械を扱う3人の息が合うように、コミュニケーションを密に取っています」と野村さん



「休日はおすすめのサウナやグルメの写真を送り合っています」と飯田さんと野村さん



今回は、「活気がある」「気前がいい」「新しいもの好きだ」「庭いじりが好きだ」が県民の特徴と言われる群馬県をご紹介！事業所独自の特色も1つ加えてレーダーチャートにし、どのくらいあてはまるかを回答いただきました！

※群馬県は「過去1年間に「園芸・庭いじり・ガーデニング」をした人の割合」全国1位です(令和3年 社会生活基本調査)  
県民性に当てはまることを推奨するものではありません。気軽にお楽しみください(参考資料:「県民性の人間学」祖父江孝男・ちくま文庫)



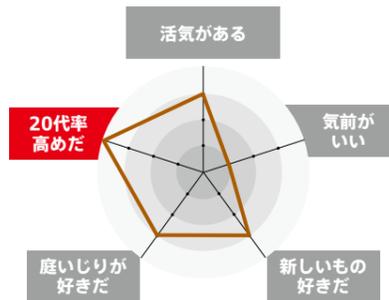
**A** 群馬ビーエス(株) 前橋中央営業所

住所 群馬県前橋市駒形町1512  
従業員数 8人

**紹介者** 所長の牧野 潤也さん(後列左端)  
**事業・業務内容** タイヤ・自動車用品の卸販売  
**今後の目標** 新型コロナウイルスも5類へと移行し、人・自動車の動きも活発になると思います。担当エリア内のタイヤおよび自動車用品需要を獲得し、お取引先拡大とシェアNo.1を目指します！



若手の成長を動力源に、  
エリア内シェアNo.1へ



**庭いじりが好きだ**  
セールスの八巻さん(後列右端)は庭いじりが好きが高じて、数年前より独学で家庭菜園を開始。今年はじゃがいも、ピーマン、トマトにチャレンジし、これからの収穫が楽しみです。

**20代率高めだ**  
所員8人中4人(前列)が20代と、若いメンバーが揃っています！若さ溢れる元気な行動力に期待しています！

**通信員** 群馬ビーエス(株) 業務部 課長 石井 琢也さん

お城が好きで日本100名城を巡っており、最近では四国の9城に行ってきました。その土地の雰囲気を知ったり、ご当地グルメを食べたりすることも楽しみの一つです。皆さんの街に行ける日を楽しみにしています。群馬にも見どころのあるお城がありますので、ぜひお越しください。

私たちがオススメします！  
**行ってみて! & 食べてみて!**  
グループ従業員の皆さんに、県内のオススメ観光スポット&グルメを教えてくださいました！  
写真: 観光くま写真館提供

**焼きまんじゅう**  
蒸したまんじゅうを竹串に刺し、甘くて濃厚な味噌ダレをたっぷり塗り焼いて焦げ目をつけた、群馬のソウルフードです。名前に「まんじゅう」とついていますが、中にあんこが入っていないのが一般的です。  
**from** 群馬ビーエス(株) 前橋中央営業所 牧野さん

**温泉**  
伊香保に草津など、全国的にも有名な温泉地があります。  
**from** (株) 高崎タイヤセンター タイヤ館 高崎北 山田さん  
草津温泉の湯畑

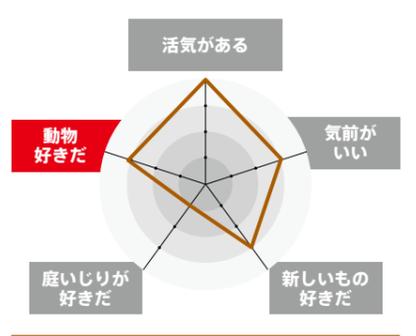
**B** (株) 高崎タイヤセンター タイヤ館 高崎北

住所 群馬県高崎市棟高町1802-29  
従業員数 6人

**紹介者** 店長の山田 和人さん(後列中央)  
**事業・業務内容** 自動車用タイヤおよび関連用品の販売  
**今後の目標** 2022年度総売上・タイヤ販売において、優秀賞をいただくことができました。今年も受賞できるよう、タイヤの販売や作業にまい進していきます。



2年連続優秀賞を獲得するぞ！



**活気がある**  
控えめに言っても全員あてはまります！みんな楽しく仕事をしているので、自然に活気が出てきます。

**動物好きだ**  
動物好きなセールスの松岡さん(前列右端)。自宅では猫にトカゲ、亀、そして錦鯉まで飼育している強者です。

**通信員** プリチストンタイヤ高崎販売(株) 総務部 課長 長崎 学さん

営業所から本社総務部へ異動となり、新たな環境の中で日々頑張っています！プライベートではバスフィッシングにドハマリ中で、釣る楽しみはもちろんですが同じ趣味を持つ方々との出会いは最高です。バスフィッシング最高！

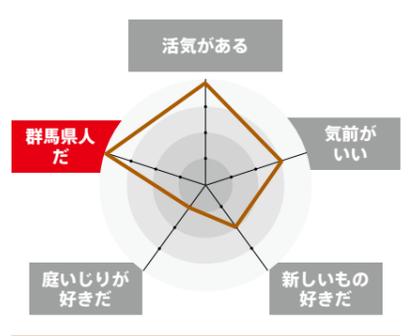
**C** プリチストン化工品ジャパン(株) 高崎事業所

住所 群馬県高崎市高岡町東沖438-1  
従業員数 7人

**紹介者** 営業課長の長谷川 博之さん(前列中央)  
**事業・業務内容** 産業資材・建設資材の販売  
**今後の目標** 産業ソリューション、建築ソリューション共に、販売計画達成を目指します！



お客様との絆を深め  
販売計画達成を目指します



**活気がある**  
塚越 正幸さん(前列右端)は迫力があり、事務所にいるだけで思わず皆が元気になります。塚越 敏幸さん(前列左端)はまさにムードメーカー！現場に出ていることが多いですが、事務所にいる間は笑いが絶えません。

**群馬県人だ**  
私ともう1人を除き、高崎営業所は7人中5人が群馬県出身です。義理人情に厚く、おかげで得意先との絆もバッチリです。



# Republic of India

## 世界のブリヂストンの チームメイト

グローバルで活躍する  
ブリヂストンのチームメイトにフォーカス！  
海外だからこそのやりがいや難しさ、  
その国ならではの最新情報などを  
お届けします！

## Bridgestone India

ブリヂストン インディア (プネ)

—インド共和国

### From teammates

### 成長市場でのビジネス獲得に貢献していきます



OE販売部長  
武藤 浩司さん

インド国内にある自動車メーカー（乗用車および商用車）への新車装着タイヤの販売を統括しています。直接的なセールス活動に加え、社内他部門とのCFT（クロスファンクショナルチーム）によるビジネス獲得に向けた活動を通じ、会社全体を視野に入れたビジネスオーナーとしての意識改革を現地スタッフへ指導しています。

#### 海外ならではのやりがいや、大変なことはありますか？

販売部門という業務の性質によるものかもしれませんが、一番難しいと感じるのはやはり言語の壁の克服です。インドではコミュニケーションを口頭のみで進めることが比較的多く、インド英語の聞き取りに苦労しています。もちろん誤解や間違いがないように大事なことは文字にして共有を図りますが、これを定着させるのも一苦労です。

#### 今後の目標を教えてください！

インドは14億人を超える人口を擁しており、今年中には中国を上回り世界最多となることが予測されています。一方で、道路の舗装率など国内のインフラ整備はまだ十分ではなく、自家用車保有率も全人口の10%に満たない状況です。

しかし、従来の小型車集中市場からSUV車へのシフトや、EV車の拡大など確実に需要変化が起き始めていて、更なる成長発展の大きな可能性を持っています。来たる大きな波にはじき飛ばされないよう、OE販売部門として更なる意識改革を図ると共に、より効果的にビジネスを獲得し、将来のBSIDの更なる発展に貢献できるよう取り組んでいきます。

Bridgestone India (BSID) は、本社をプネ（インド最大の港町ムンバイより内陸側へ車で約4時間）に置き、生産拠点はプネとインドールの2工場を構えています。インド全土における乗用車およびトラック・バス用タイヤの生産・販売をメインに、近隣諸国への輸出や鉱山・建設車用タイヤの輸入販売、またタイヤを軸にしたソリューションビジネスの開発・拡大にも力を注いでいます。

### Country information



国名：インド共和国  
公用語：ヒンディー語（他に憲法で公認されている州の言語が21言語）  
首都：ニューデリー  
人口：14億756万人  
(2021年世界銀行資料)



### 国・地域のモビリティ事情

人口の割に自動車普及率がまだまだ低い分、インフラ整備や運転マナーが確立されていません。意味を成さない車線、逆走、路上での車両放置の他、超過積載の超低速大型トラック、車道いっぱいになって低速で並走するノーヘルの2～3人乗り小型バイク、隙あらばどんなに狭くとも車間に割り込んでくる三輪タクシー、そして我が物顔で車道を闊歩する歩行者と牛たち。出勤や帰宅ラッシュ時は特に凄まじい渋滞に巻き込まれます。雨季に入るとこれが更に恐ろしい状況に。



自動車、バイク、歩行者などが行き交う車道



対向車線から近づいてくる牛たち

### 国・地域の名産品・名物スポット



インド料理と言えば、スパイスカレーのお供に「ナン」を思い浮かべる方は多いのではないのでしょうか。実際に日本でインド料理店に行くとナンは必ずありますし、インド人の主食と思っている方も多いのでは？しかし、実際にインドで一般的に食べられているのは「チャパティ」です。ナンを焼くのに必要な釜が一般家庭には普及しておらず、材料となる精製した小麦粉を家庭ではあまり使わないという理由から、インドの家庭ではナンはあまり食べられていないようです。

山口周さんに聞く /

# アンコンシャス・バイアスとDE&I



ブリヂストンは昨年8月に、2030年長期戦略アスピレーション(実現したい姿)を発表し、レジリエントな“エクセレント”ブリヂストンへの道筋を示しました。その変革への原動力は「人財」であり、一人ひとりの「人的創造性」の向上に向け、取り組みを加速しています。「DE&I」も基盤のひとつとして位置付けており、昨年10月には、人事システムの基盤・育成を担い、また会社のカルチャーチェンジ推進をミッションとするHRXカルチャーチェンジ・DE&I推進部が発足しました。今回のArrow x Dream Studioでは、同部でまさに全社のDE&I推進に取り組んでいる部長の本間さんと担当の山さん、Dream Studioの企画責任者の鳥山さんが、推進の鍵として昨今注目されている「アンコンシャス・バイアス」をテーマに、Arrowでもお馴染みの山口周さんにお話を伺いました。



(株)ブリヂストン  
HRXカルチャーチェンジ・  
DE&I推進部  
山香苗さん

山口周さん

(株)ブリヂストン  
HRXカルチャーチェンジ・  
DE&I推進部 部長  
本間涼さん

ファシリテーター  
(株)ブリヂストン  
オリンピック・パラリンピック推進部 課長  
Dream Studio企画責任者  
鳥山聡子さん



## Dream Studioとは

DE&Iを理解し、体感できるきっかけを社内外の多くの人たちに提供する活動です。

過去記事はこちら▶



## アンコンシャス・バイアスとは?

「無意識の偏見」「無意識のバイアス」と訳され、自分自身が気づいていない物事の見方や捉え方のゆがみ・偏りのこと。

例えば

Aさんは  
アメリカ出身だから  
英語が得意かな?

Bさんは  
ワーキングマザーだから  
仕事より家庭が優先だね。

自分にはリーダーは  
とても務まらないよ。

CさんはO型だから  
大雑把だね。

私たちの誰もが無意識に持っている「●●は××だろう」という前提やステレオタイプ。これがアンコンシャス・バイアスの正体です。



## 山口周さん

### Profile

独立研究者・著作家・パブリックスピーカー。慶應義塾大学文学部哲学科卒業、同大学院文学研究科美学美術史専攻修士課程修了。電通、ボストン・コンサルティング・グループなどを経て、組織開発と人材育成を専門とするコーン・フェリー・ヘイグループにて、シニア・クライアント・パートナーを務めたのち独立。哲学・美術史を学んだ歴を活かし「人文科学と経営科学の交差点」をテーマに活動を行っている。『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?』(光文社新書)でビジネス書大賞2018準大賞、HRアワード2018最優秀賞(書籍部門)を受賞。その他の著作に『外資系コンサルの知的生産術』『ニュータイプの時代』『ビジネスの未来』など。

山口さんの過去記事はこちら▶



## アンコンシャス・バイアスと うまく付き合う2つのポイント

**本間** 最近、DE&I推進のヒントとして「アンコンシャス・バイアス」が注目されています。まずアンコンシャス・バイアスがどういうものであるのか改めて教えていただけますか?

**山口** アンコンシャス・バイアスは誰もが持っていて生存のために進化させてきた必要な機能の一つであると同時に、「悪さ」も働くために非常に付き合いが難しいものです。悪影響を最低限にするためにはある種の「謙虚さ」、自分の判断が間違っているかもしれないと自らに問う姿勢が必要です。また、文字通り無意識であるため誰かに指摘されるまでは気づくのが難しいので、周囲が気づいた時に心理的負担なく指摘できる、いわゆる「関係性の質」が大切になると思います。

**鳥山** 自分はもちろん、他の人のアンコンシャス・バイアスにどう気づいてあげられるかも大切なのですね。

**山口** アンコンシャス・バイアスは多様性にかかわる問題でもあります。例えば将来を期待されている若手が辞めてしまう。上司と本人の間で、キャリアに対する価値観が全く違って、上司が良かれと思ったことが本人には負担になり、その結果、会社を去ってしまうというのはよくあることです。世界観や仕事観、人間観の違いについ

て、コミュニケーションを通じて理解しなければいけない。

**本間** ブリヂストンでも1on1ミーティングなどをはじめとしたキャリアや仕事に対するコミュニケーション(対話)を通じて、以前と比べて双方の希望を共有するようになってきていると思いますが、もっと加速させる必要があると考えています。

ブリヂストンにおいて、各SBUで行なっているエンゲージメント調査で見えてきたグローバル共通の課題の一つが、チームを超えた協力体制の構築でした。自らのアンコンシャス・バイアスに気づき、チームの枠に捉われずに協力体制を作り上げていくためにはどうすればいいでしょうか?

**山口** 対話を通じて積極的にメンバーの意見や話を聞く組織は、仕事への貢献意欲も高いことがわかっています。傾聴を含めたコーチング(自発的行動を促進するコミュニケーション)の実践を会社の研修に紐づけていくのが有効ではないかと思います。組織のリーダーが、必ずしも自分だけで問題を解決するのではなく、チームとして問題の解決を目指す姿勢が大切です。

## 自分と相手に良い方に 捉えることが判断軸

**山** 自分の考えにアンコンシャス・バイアスが入っているのかわるか、念頭において他者と対話する上で、気をつけることはあり





ますか？

**山口** 「パスカルの賭け」という考え方があります。神様がいるかどうかを信じるか。もし神がいた場合、信じて生きれば死後に救われますし、もしいなかったとしても大した損にはなりません。逆にないと考えると本当にいた時に大変なことになる。「いる」と考えた方が得ですよ。

自分の子どもが素晴らしい大人になると思っていた方がポジティブな子育てができるように、自分と相手にとって良い方に捉えて判断すれば良いのではないのでしょうか。

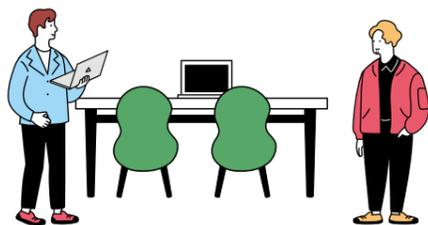
**本問** なるほど。時に、配慮しているつもりが裏目に出てしまうこともありますよね。例えば子育て中の方に出張をお願いしていいか、など組織のリーダーもどう配慮すべきか、迷ったり躊躇したりすることもあるかと思えます。

**山口** そこは「あなたの気持ちを確認したいので、改めて聞かせてください」と一言添えて躊躇せずコミュニケーションすることでクリアできると思います。コミュニケーションが増えてネガティブになることは基本的にありません。そして言われなければ相手には伝わらない。「わかっているつもり」が時にエンゲージメントを阻害する要因にもなり得ます。

**鳥山** やはりコミュニケーションの問題に帰結していくわけですね。

**山口** 日本の組織は、コミュニケーションに対する質と量ともにトレーニングが十分ではない印象があります。米国では昇進のたびにコミュニケーションについてのトレーニングを受けます。

コミュニケーションのやり方一つで組織は劇的に変わります。例えば、今までのキャリアで最高の上司と最悪の上司を思い浮かべてみてください。前者は「任せてくれる」に対し、後者は「丸投げする」、同様に「仕事を巻き取ってくれる」と「仕事を横取りする」。これって実はやっていることは紙一重で、伝え方次第、相手の受け止め方次第なんですよ。



### 失敗や不慣れな体験が視野を広げていく

**鳥山** 会社として、従業員一人ひとりが無意識に持っている偏見に気づき、DE&Iへの理解を深めてもらうために、有効な手段は他にもありますか？

**山口** 例えば必要な人材像を明確に示し、それに則った人事施策を行なっていくことは有効だと思います。

**本問** (株)ブリヂストンでも2021年に「多様性を活かしたイノベーションの推進」を人財要件における能力要件のひとつに入れて、多様性の尊重・相互理解、周囲との協力体制を大事にしながら新たな試みに挑戦していくことを促進しています。また、昨年下半年からは基幹職のライン長を対象に360度評価を拡大しています。これらのフィードバックの場も自らの無意識の「当たり前」を軌道修正する機会として活かしていただきたいです。

**山** 最後に、他の企業などで行われている、アンコンシャス・バイアスへの理解促進につながる施策などがありましたら教えてくださいませんか？

**山口** ある外資系メーカーでは役員になる条件として、母国語以外の国や出身部門でない事業で業績を上げることを明示しています。また、有望な若手は早期から外国、出身部門以外の事業を経験させています。こうした環境に置かれると、自分だけでは組織が回らないので、洞察力やコミュニケーションが嫌でも必要になる。失敗や不慣れな体験が学習の機会となってアンコンシャス・バイアスの解除にもつながります。

**鳥山** 多様な場所で多様な経験を積むこと。まさにDE&Iを実践することがアンコンシャス・バイアスへの気づきにつながるのですね。多くのヒントやご助言をいただき、ありがとうございました。



# Arrow News Clips

Web版「Arrow」で随時更新しているニュースや、各事業所での取り組みをピックアップしてご紹介します。

📅 2023.03-05

ブリヂストン インディア 2023.03.14

## ブリヂストン インディアがギネス世界記録を樹立

ブリヂストン インディア (BSID) が、「Largest Tyre Image-Logo (タイヤでできた世界最大のロゴ)」のタイトルでギネス世界記録を樹立しました。300人を超える従業員が、565本のタイヤを用いてブリヂストンロゴを作成するというもので、エンゲージメントの向上を目的に行われました。

こうした取り組みを通じて従業員の一体感を醸成し、BSIDの更なる発展に貢献していきます。

Web版では、記録達成までの様子を動画でご紹介しています。ぜひご覧ください。



ギネスワールドレコーズの審査員によって世界記録が認定されました



565本のタイヤで作られたブリヂストンのロゴ

ブリヂストングループ 2023.04.04

## 「第20回 ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール」の表彰式を開催しました

東京・広尾のブリヂストングローバル研修センターで「第20回 ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール」の表彰式を開催しました。20回目の節目を迎えた今回のコンクールでは全国から53,963点の応募があり、表彰式にはブリヂストン大賞に選ばれた5人の子どもたちが参加しました。



ブリヂストン大賞を受賞した子どもたち (前列)。応募作品がデザインされた燃料電池自動車「MIRAI」もお披露目されました

今回の入賞作品の展示や、ワークショップなどを行う「ドリームアートキャラバン」をブリヂストンイノベーションギャラリーほか各地で開催します。詳細は特設ページをご覧ください。



ブリヂストングループ 2023.04.08

## 「タイヤの日」に合わせた交通安全啓発イベントを開催しました

一般財団法人 日本交通安全教育普及協会と共同で、交通安全啓発イベント「4月8日はタイヤの日 ファミリー交通安全パーク」を東京都内のショッピングモールで開催しました。

自動車、バイクのタイヤ点検の重要性をお伝えしたほか、自転車の空気入れ体験やヘルメットの正しい着け方のレクチャー、自転車走行時の交通ルールをクイズで学ぶ子ども向けの企画などを行いました。

また、警視庁や一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF) の協力のもと、危険予測に関する体験型コンテンツなども活用し、来場された方へ交通安全の重要性をお伝えしました。





他のニュースもチェック!  
Web版「Arrow」

ユーザー名 : **bridgestone**  
パスワード : **arrow**



ブリヂストン吹奏楽団久留米 2023.05.03

### ブリヂストン吹奏楽団久留米が「博多どんたく港まつり」のパレードに参加しました

福岡県福岡市で開催された「博多どんたく港まつり」のパレードにブリヂストン吹奏楽団久留米が参加しました。

今回吹奏楽団は、UCI (国際自転車競技連合) 公認のサイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2023」のPRのために参加しました。今年10月に初開催されるレースで、ブリヂストンは大会スポンサーを務めます。近年九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして、九州の美しい自然や風景を発信すること、サイクルツーリズムの普及などが期待されています。

パレードでは、同じく大会を応援する県内のチアリーディングチームや、大会応援隊長のくまモンとも一緒に進み、迫力ある演奏でお祭りを盛り上げました。



(株)ブリヂストン、ブリヂストンスポーツ(株) 2023.05.18~21

### 「ブリヂストンレディスオープン」を開催しました

愛知県豊田市の中京ゴルフ倶楽部石野コースで、国内女子プロゴルフトーナメント「ブリヂストンレディスオープン」を開催しました。

会場では、ブリヂストングループのサステナブルな取り組みや商品・技術を体験・体感いただける「ブリヂストンパーク」を設置しました。ゴルフ用品をはじめ、月面タイヤやソフトロボットハンド、自転車など

が展示され、訪れたギャラリーの皆さんにブリヂストンの取り組みをご紹介します。

Web版では、本選出場を目指すアマチュア選手たちをサポートする、ブリヂストンスポーツ(株) プロ・アマチュア企画ユニットの業務の様子もご紹介しています。ぜひご覧ください。



ゴルフボールや月面タイヤなどを展示しました



#### 抽選でプレゼントが当たる! 読者アンケート受付中

Web版記事のアンケートにご協力いただいた方の中から抽選で10名様に、ブリヂストンスポーツ契約選手のサイン入りキャップなどをプレゼントします。右記のQRコードよりアクセスの上、ご応募ください。

応募締め切り: 2023年7月31日(月)



## ありがとうの気持ち Thank You!

ブリヂストングループの仲間への感謝の気持ちを、リレー形式で紹介します。

### 頼もしくサポートしていただきました

約2年前、私が彦根工場の設備課で搬送設備、加硫、検査、物流工程の担当となり、設備の設計業務を依頼したのが河崎さんでした。私は検査工程を担当するのが初めてで、知識不足な部分をサポートして下さった頼もしい方、というのが第一印象でした。

繁忙期には一つひとつの業務を精度良く、かつスピード感を持ってこなす必要がありましたが、河崎さんの技術力に加え、きめ細やかなフォローのおかげで何とか遂行できました。ありがとうございます。

現在は小平と彦根で離れてしまいましたが、またお会いできる日を楽しみにしております!



From

(株)ブリヂストン  
次世代技術開発第3部  
次世代生産システム設備開発課  
松下 俊介さん



To

ブリヂストン  
プラントエンジニアリング(株)  
彦根事業所 彦根技術課  
河崎 厚志さん

### 探求心とお人柄を見習ってみたいです

お客様のお一人で、仕事上でもいつもご配慮いただき感謝しております。

物腰柔らかく、常にこやかでソフトな口調は、見習わないといけないとお会いする度に思っています。以前から多趣味で、最近は風景写真を撮られているとのこと。人と違う構図や、クスッと笑いを誘うようなストーリーを感じる写真を撮られていました。仕事でもプライベートでもそしてお笑いでも、「常に自分が満足いくものを探しているのだろう」と考えながらお顔を拝見すると、キュートな笑顔が満足気に頷いているように見えました。

私も安藤さんのように、ハートフルなマインドと飽くなき探求心を持っていきたいと思えます。いつもありがとうございます。そしてこれからもよろしく願っています。



From

ブリヂストン  
ビジネスサービス(株)  
保険事業部 東日本営業ユニット  
江口 明美さん



To

(株)ブリヂストン  
実車試験部 主査  
安藤 嘉久さん

### Present! 読者プレゼント

佐藤琢磨選手  
サイン入りキャップ、サイン入り色紙  
(P4~7に関連記事)



各3名様



インドグルメセット  
(P20~21に関連記事)

※インド国内で販売されている  
レトルトカレーなどをセットで  
プレゼントします

15名様

### ご応募はこちらから

ペーパーレス化に伴い、Webからの応募のみ受け付けとさせていただきます。下のQRコードよりアクセスの上、ご回答ください。



※回答フォーム専用ページにアクセスします。  
※アクセス時にIDやパスワードの入力は不要です。

### 編集後記

今回佐賀工場、甘木工場の取材にお邪魔し、改めてブリヂストンの「最高の品質で社会に貢献」を実践されている現場を体感することができました。今後もさまざまな現場での取り組みや海外での取り組みも紹介していければと思います。(OO)

美ら海水族館のイルカ、サミの人工尾びれ開発について取材を担当させていただきましたが、ブリヂストンの仲間が力を合わせて困難を乗り越えたお話を聞き、胸が熱くなりました。Arrow編集部もチームプレーで良いものを作っていきます!(YO)

裏表紙でWeb版Arrowのランキングを掲載していますが、ちなみに上半期で最も閲覧数が多かった日は4月27日でした。その日配信したArrowのお知らせメールから来て下さったのでしょうか。皆様ありがとうございます。(SN)

### ご意見紹介

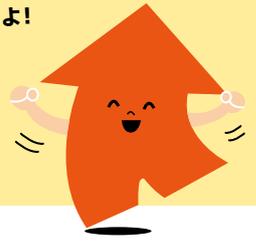
特集「Bridgestone Innovation Parkを大解剖!」について

●小平のBIPに関して詳しく知る事ができて、とても良かったです。特にB-Mobilityはとても気になっていたので、どんな活動をしているのかわかりました。(武田 英史さん)

●BIPの巨大化にビックリ。凄い施設です。施設内をもっと見てみたいです。(ベンネーム: キキさん)

# Web版「Arrow」 上半期人気記事ランキング 大発表～！

Web版「Arrow」では、ブリヂストングループの事業や共に働く仲間たちの活躍をたくさん紹介しているよ！  
今回は、2023年1月～6月※までに公開された記事の中から、「いいね！」の数が多かった記事をご紹介します！みんなもぜひ読んでみてね☆  
※2023年1月1日～6月10日までに公開の記事を対象・集計



第1位



258  
いいね!



## 【師匠と弟子】 検査印に込められた誇りと責任 - (株)ブリヂストン 防府工場 -

人気連載「師匠と弟子」が堂々の1位に！この回では、山口県防府市にあるブリヂストン 防府工場で検査を担う師匠と弟子にフォーカスしたよ！「最後の砦」を担う2人の姿勢はとってもカッコよかったなあ！



第2位



239  
いいね!



## 【こんにちはアローです!】 「日本はこれからもブリヂストンのコアであり続ける」 (株)ブリヂストン 代表執行役 Joint Global COO 東 正浩さん

(株)ブリヂストンやグループ各社で経営を担う方々の素顔に迫るコーナー「こんにちはアローです!」が2位になったよ! 東さんにも、趣味や特技の他、印象に残っている仕事などを紹介してもらったよ。



第3位



220  
いいね!



## ウクライナ人留学生の インターンシップ受け入れ開始!

ウクライナ避難民学生・留学生の受け入れを行う日本経済大学に賛同して、ブリヂストンではインターンシップを実施したんだ。その模様を昨年に続き今年も紹介しているよ。応援のコメントが寄せられて、僕も心があたたかくなったよ。



第4位

219いいね!

(アロー君)ブリヂストン吹奏楽団久留米が「博多どんたく港まつり」のパレードに参加したよ!



第5位

205いいね!

「ちゃんと買い」のTVCM放映開始!  
撮影の裏側をご紹介します



第6位

204いいね!

まさに「縁の下の力持ち」文化財を守るブリヂストンの免震ゴムに注目!



第7位

189いいね!

タイヤが原材料に戻る未来へ!  
熱分解リサイクルの検討が進んでいます



メルマガ登録はこちら!

Web版「Arrow」の最新記事やアクセスランキングなどの情報をいち早くお届けしています。

ユーザー名: **bridgestone**

パスワード: **arrow**



みんなもたくさん記事を読んで、コメント&いいね! ボタンを押してね~!